

平成 27 年 5 月 18 日

5 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は引続き順調で、入荷量もスギ中心に平年を上回る。製品の値下がりから製材工場が丸太手当を控えており、原木の引合いは極端に悪化。スギは中目材の引合いが特に弱く、ヒノキは入荷量が減少しているにも関わらず、柱材、土台材の引合い戻らず。相場の下落が続きスギは柱材が弱保合、中目材は 4m 材より 3.65m 材が安い逆転現象起きる。ヒノキは柱材、土台取りが続落し、3 年前のヒノキ暴落の価格を更に下回る過去 50 年で最安値となる。

群馬の製材工場の操業状況は、通常で連休前から若干の荷動き感あるが、先行き需要が出ないと操業を調整する必要。連休前から見積りが増え、多少の注文材も受注。製品在庫は相変わらず多く、特にヌキなど羽柄と柱等の角材に荷余り感。原木の出材は少なくなりつつあるが、需給バランスから見ると集荷は容易。原木在庫は十分な手当が進む中、4m 材が少なく、3m 材が多少の荷余り感。製品価格は依然投売感があり低位安定状態。

2. 米材

輸出向け丸太は、日本・中国ともに引合い低調。米国内原木価格も下落傾向で底打ちする地域も散見。産地港頭在庫はサプライヤーの生産調整の効果、中小の手山持ちの伐採意欲減退で需給バランスが取れ健全化。ウェアハウザー社の 5 月積み対日米マツ価格は、4 月積比 \$ 30 ダウンの \$ 790 (推定) で決着。米材丸太の入荷は、3 月に 250 千 m^3 に回復したが低調。3 月の出荷は 280 千 m^3 強と盛り返す。在庫は出荷超により減少し、1 か月分を割る状況。国内の大手港湾製材工場は、製品販売が低調で依然厳しい。プレカット工場の稼働率は、4 月に回復したが力強さに欠ける展開。米加針葉樹製材品協定に基づくカナダから米国への輸出税は 4 月に続き 5 月も実行。

米製材品の TLT(東京木材埠頭)4 月の入荷量は 35.2 千 m^3 (前月比 9.0%増)で続伸、出荷量は 28.8 千 m^3 (同 6.4%減)に回復。在庫量は 55.0 千 m^3 (同 13%増)。ランダムレンジス紙 15 種平均価格は、3 月末で \$ 336/ m^3 まで回復。大手サプライヤーの QTR2 積は、中国木材の値下げ浸透で DF 小角、タルキが \$ 410-405/ m^3 のオファー。SPF 2×4J グレードは \$ 475-465/ m^3 レベルと弱含み。4 月も分譲住宅向けの受注減で在庫が減らず、今月も当用買い多く荷動きは鈍い。先行き 5

月も受注が読めず厳しいとの声多いが、緩やかだが受注は回復基調。国内在庫は高水準では無いが、円安によるコストアップを売値へ転嫁するに各社苦戦。

3. 南洋材

マレーシアは4月から初の6%消費税が導入され、サバでは地元商工業者に買控え等経済活動が若干停滞。このため製材工場も稼働状態悪く、伐採も低調な状況。サラワクは不法伐採取締が厳しく原木出材減少の中で、消費税導入の混乱も加わり、出荷量は大幅に低迷し、製材工場の原木不足が慢性化。PNG ソロモンは原木出材及び中国・インドの買付がいずれも堅調。原木相場は横這い。丸太の入荷は減少、出荷は微増、在庫は減少。製材品入荷は減少。丸太の販売は合板・製材用とも変化なし。製材品は無垢製品が現地で高止りのため、荷動きは悪いが値段は下がらず横這い。集成材は価格横這いで、どの商品も当用買いに終始。

4. 北洋材

ロシアシベリアは異常天候で融雪が進み、伐採地に入山できず搬出に支障、一部山火事発生もあり出材は減少。中国マーケットが好調なため、アカマツ丸太・原盤の引合い強く、対日向け供給量は一層減少。富山新港の4月の丸太入荷は3.3千 m^3 、原盤入荷は8.2千 m^3 。在庫は丸太3.0ヶ月分。丸太価格はオファー少なく弱含み、製材品は現地挽き国内挽きともに弱含み。荷動きは現地挽き製品が東京、川崎で対前年同月比9.6%出荷減。国産製品は3m材のみ需要があり他は低調。国内の北洋材製材工場は不採算。稼働状況は丸太減少で生産調整続き製材縮小。受注状況は住宅物件が最低水準。

5. 合板

原料丸太のうち国産材価格は、カラマツの品薄状態が解消されすぎとともに横這い。米材、ロシア材は現地需要少なく弱含みで推移。南洋材は相変わらず丸太の集材難や賃金上昇から高値で張りついたままの状態。3月の国内総生産量23.5万 m^3 のうち針葉樹合板は22.1万 m^3 、出荷量は21.5万 m^3 で生産量が出荷量を上回る。在庫量は25.0万 m^3 とさらに増え、10ヵ月連続で20万 m^3 超となり高水準の状態続く。

国産針葉樹合板の荷動きは相変わらず低調で、相場は全体に弱保合。大手メーカーの4月からの値戻し発表は不発に終わったが、それでも12mmの最安値は消え、4月はほぼ横這いで推移。また、厚物は平均50円/枚以上ダウンし、需給バランスや在庫量を考えても12mmと併せて、非常に不透明な展開。輸入合板も荷動きは低調だが、価格は横這いで推移。荷動きの悪さから一部で安値販売も

あるが相場に影響するほどではない。先行き針葉樹合板は大手メーカーの5月値戻し唱えもあったが、マーケットは同調しないと予測。輸入合板はコスト割れが続く中で、港湾在庫が満杯状態だが、4月の入港次第では強めに転じる可能性。荷余り品目は針葉樹合板全般と輸入合板12mm。品薄品目はラワン構造用9mmと厚物。

6. 構造用集成材

原料ラミナの入港は順調。QTR1 契約分が入港し適用為替レートは円高基調。QTR2 契約は€135 価で、夏入港は円貨では上昇する見込み。1-3月に比べ4月のプレカット稼働は良く、国産集成材の受注も上向きだが、価格先行きが不透明で必要当用買いが増加。RWの梁桁は底値感が出てきたが、WW柱は過剰感があり荷動きは悪い。販売先行きはプレカットの稼働が改善され良くなると予想。在庫は適正で、一部に品薄感あり。価格はジリ安基調だが、底値が見えてきたとの声も聞かれる。輸入集成材は、56,000 円/m³。4月にシュバイ社のRW梁桁が東北に入港、6月積は54,000 円/m³になる模様。今後メーカーの増設により入荷が増える見込み。

7. 市売問屋

国産材の構造材は、スギ、ヒノキとも依然として動き悪い。リフォーム増改築用の少量需要が主体で纏まった荷動き少ない。造作材はリフォーム需要がまずまず。スギ、ヒノキとも建具用桁平割の動き弱い。外材の構造材も動き悪い。造作材は米ヒバ、スプルー、ピーラー良材の建築用材は徐々にだが上向く。販売動向は、相変わらず買方の仕事量少なく、来場しても買気なく当用買い主体の状態。新設住宅着工の減少を反映し、需要の減少傾向が顕著。原木の値下がりを受け製品相場も下げに転じてきた。

8. 小売

国産材の構造材はスギ柱・間柱、ヒノキ土台・柱とも弱保合。外材はロシアアカマツ良材が品薄、タルキは保合、米ツガKD角、平割保合、SPF保合、WW間柱保合。造作材はスプルー良材、ナラ、タモ保合。集成材はWW、RW梁、柱とも弱保合。合板は針葉樹、ラワンともに保合。床板・フロア保合。プレカットは、5月以降幾分明るさは出てきたが、町場工務店の受注状況は低調。

5月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	↗	↗	↗
北洋材	丸太	↗	↗	→
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	↗	↘	↘

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記の様に示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸 入 量		
	計	インドネシア	マレーシア
↗	↘	→	↘

3. 価格動向

樹材種	形 状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	→
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	↘
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	↘
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	↘
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	↘
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	↘
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	↘
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	↘
		スギタルキ3.0×4.0×4m	↘	
		ヒノキ柱角(KD) 12.0×12.0×3m 特等	↘	
		ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	↘	
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	→
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ カスケード (カナダ産)	→
			米マツ ISタイプ コースト	→
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8” 13’	→
		米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16” 13’	→	
		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	→	
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品		産地価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用
			東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産)
		同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→	
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ(KD)30×40 AB	→
			アカマツ(KD)15×45AB 18×45AB	→
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	→
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↘
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	↘
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	↘
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	↘
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↘